

—京都スタジアム建設—  
**亀岡市、用地移転を検討**  
300メートル南へ、7月中旬に結論

府が亀岡市で計画を進める「京都スタジアム(仮称)」の建設場所に関し、桂川孝裕市長は30日の定例会見で、市が確保する予定地の変更を検討していると明らかにした。移転先は現在の予定地から約300メートル南で、JR亀岡駅北口に隣接する工

リア。地権者らに理解を求め、7月中旬に結論を出す方針。

先月27日、予定地周辺に生息する絶滅危惧種の淡水魚「アユモドキ」などへの影響を調査する環境保全専門家会議が、「アユモドキ保全を確実にするには、あと3年は調査が必要。建設の早期実現には場所の移転が望ましい」として、山田啓二知事と桂川市長に提言していた。

新たな予定地では、今年2月から亀岡駅北土地区画整理組合が商業・住宅地として区画整理事業を始めている。桂川市長は「組合関係者と話し合いを続け、今は予定地の鑑定評価をしている。財源は府にも協力を求める」と説明した。

既に買収が完了している当初の予定地(約

13・9センチ)については「アユモドキを中心とした自然環境共生型の都市公園として整備したい」との考えを示した。【藤野健一】